

## 診療科便り

### 循環器内科(後編)

#### ①腸骨動脈病変

CTで大動脈から腸骨動脈の強い石炭化を認めます。(図2)。



図2



図3



図4

#### ②大腿動脈病変

CTで右大腿動脈が閉塞している。ステント(金属の金網)留置に成功し、足の症状が改善しました。(図4)。



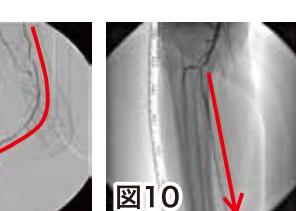
図5



図6

カテーテルを用いて、ステント(金属の金網)留置に成功し、足の症状が改善されました。(図6)。

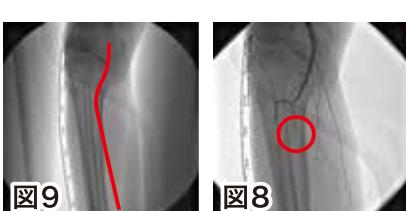
バルーンを用いて動脈を拡張させました。(図6、7)。足の痛みが改善し、たくさん歩けるようになりました。最近は、大腿動脈へのステント治療も可能です。



人間にとつて、足は重要です。



右足に十分な血液が来ています。(図10、11)。右足の潰瘍も治ってきました。



細長いバルーンで拡張しました。(図9)。

#### ③膝下動脈病変

右足の潰瘍で受診されました。足先へ向う動脈が閉塞しています。(図8)。



足先へ向う動脈が閉塞しています。(図8)。

第二の心臓とも言われています。皆さん歩いてくることがあります。歩いて足が痛くなる方は、ためらわず循環器内科にご相談ください。その足を治すため、循環器内科は頑張ります。